みず・みどり　みまもり　はぐくむ　森がすき

み～も通信

水と緑の森づくり情報誌

夏
SUMMER

2006.7
VOL.5

緑の総合イベント“2006森の誕生日”が行われました!!

今年も４月29日の「みどりの日」に、松江市宍道町の「ふるさと森林公園」で、森づくりや森林からの恵みにふれあうことができるイベント“森の誕生日”が行われました。

当日は快晴にも恵まれ、県内各地で活躍している森づくりグループや企業の展示コーナーや、木工、竹細工、ネイチャーゲームの体験コーナーなどに、多くの方が参加され賑わいました。

また、チェーンソーひとつで大きなスギ丸太を彫刻する“チェーンソーカービングショー”や島根大学吹奏楽部の森のミニコンサート、「水と緑の森づくり」体験会も開催され、日頃経験できない様々なイベントが繰り広げられました。

森づくり体験会

「水と緑の森づくり」PRコーナー

チェーンソーカービングショー

島根の森づくりのために、愛・地球博のキャラクター“モリゾー”と“キッコロ”も応援にきてくれたよ。

「緑の募金」の“どんぐりくん”や「ふるさと森林公園」の“グリーンマン”もみんなそろって、子どもたちも大喜び！

LOVE
GREEN
WATER

島根県
http://www.pref.shimane.jp/section/yama/mizumori/index.html
この季刊誌は「水と緑の森づくり税」による森づくりの取り組みを、県民の皆さまにお知らせするものです。

H17年度「水と緑の森づくり税」はこのように活用させていただきました。

1　決算額等

H17年度事業費決算額　76,720千円（当初予算額　128,748千円）

☆「水と緑の森づくり基金」積み立て額：138,929千円（H18年3月30日）

☆「水と緑の森づくり基金」残額：62,213千円

（H18年5月25日現在　利息4千円含む）

2　事業の内容

(1)　県民参加の森づくり

☆森づくり・資源活用実践事業　決算額　39,733千円（当初予算額：40,000千円）

県民の自主的な森づくり活動を推進するため、メニューに沿って県民自らが企画・立案した取り組みを支援する「森づくり・資源活用実践事業」を行いました。

3回の募集であわせて44件の応募があり、「水と緑の森づくり会議」の意見を伺い採択された42件の事業に対して交付金を交付しました。

この42件の事業で、県内39団体、約5,168名の県民の皆さんが、森づくりや森林の恵みを活かした活動に取り組みました。

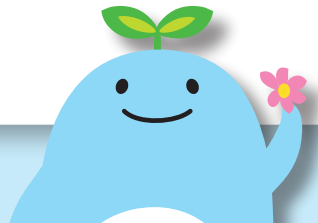
H17年度の取り組み　（件、千円、人）

区分	メニュー		第1次	第2次	第3次	合計	参加人数
森を保全する取組	森づくりボランティア	件　数	1	3	3	7	1,065
		交付金額	1,939	3,348	1,899	7,186	
	森づくり講座	件　数	4	2	2	8	688
		交付金額	4,204	1,877	2,165	8,246	
森を利用する取組	木材・森林バイオマス利用による街づくり	件　数	6	1	8	15	1,519
		交付金額	9,564	1,739	6,829	18,132	
	木の利用講座	件　数	7(2)	4	1	12(2)	1,896
		交付金額	3,744	2,381	44	6,169	
	森林・都市交流	件　数	(1)		(1)	(2)	
		交付金額				0	
合　計		件　数	18	10	14	42	5,168
		交付金額	19,451	9,345	10,937	39,733	

※メニューが複数に及ぶ取組については件数を外数で括弧書きしています。
※参加人数は、実施団体からの報告等による数値です。

☆森づくり推進事業　決算額　12,881千円（当初予算額：14,548千円）

項　目	金額(千円)	内　容	備　考
森づくり情報交流等			
水と緑の森づくり会議の開催	892	委員報酬・費用弁償等	第1回：5月27日、第2回：7月27日、第3回：9月20日、第4回：1月20日、現地視察：3月16日
季刊誌「み～も通信」の発行	2,468	印刷代	7月、10月、1月、3月の年4回、各25,000部発行。市町村・主要駅・主要スーパー・道の駅・銀行等に配布
東部イベントの実施	1,328	開催準備委託等	4月29日　ふるさと森林公園（松江市）で開催
西部イベントの実施	714	講師旅費謝金、PRチラシ作成等	12月11日「いわみーる」（浜田市）で記念講演会開催
事務所イベントの開催	1,745	開催準備委託、植樹用苗木代等	県内7箇所で実施
キャラクター・キャッチコピーの募集・決定	283	賞金・副賞等	キャラクター「みーもくん」　キャッチコピー「みず・みどり　みまもり　はぐくむ　森がすき」
ホームページの作成	1,796	HP作成業務委託	「水と緑の森づくり」専用HPの開設
PR用製品の作成	2,581	作成費	新聞広告400千円、キャラクターシール814千円、バス広告134千円、県産材製品1,006千円、ポスター101千円、のぼり126千円
森づくりプロデューサー養成及び派遣			
森づくりプロデューサーの養成研修の実施	1,074	研修実施業務委託等	養成研修2回：12月17、18日及び2月11、12日開催 19名養成、委嘱状交付



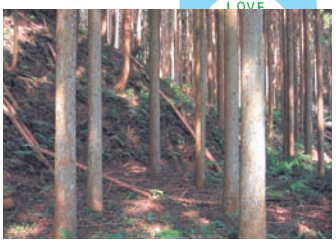
(2)　緑豊かな森への再生

☆県民再生の森事業　　決算額　22,951千円（当初予算額：73,000千円）

管内	協定締結		整備実施	
	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)
松江	28	29	23	24
雲南	30	55	16	31
出雲	5	29	4	25
県央	39	174	25	68
浜田	16	41	7	8
益田	40	81	23	50
隠岐	19	50	11	8
計	177	460	109	214

※面積は小数点以下四捨五入のため合計は一致しません。

再生！



平成17年度は、410haの荒廃森林を整備する計画に対して整備実施前に県と森林所有者等との間で締結する協定は460haの森林で結ぶことができました。

なお、平成18年豪雪により現場作業が困難な状況が続いたことなどから、平成17年度内の整備面積は214haになり、残りは平成18年度に行うことになりました。

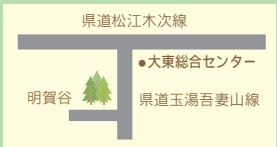
☆地域の森継承事業　　決算額　1,155千円（当初予算額：1,200千円）

県内４流域に１箇所ずつ、見本となる「水と緑記念の森」を設置しました。

「水と緑記念の森」見本林を設置

「県民再生の森事業」を行った森林を活用し、元気な森林のお手本となる『水と緑 記念の森』見本林を県内４箇所に設置しました。

皆さんも、機会があったらチョット立ち寄って、のぞいてみませんか？



斐伊川流域（雲南市大東町）

上層樹種：スギ
林齢：41年生
面積：0.26ha
不要木伐採率：30％
広葉樹植栽：ヤマザクラ

江の川下流流域（大田市川合町）

上層樹種：スギ
林齢：41～47年生
面積：2.50ha
不要木伐採率：30％
広葉樹植栽：今後植栽予定

高津川流域（吉賀町柿木村）

上層樹種：スギ・ヒノキ
林齢：43～60年生
面積：2.93ha
不要木伐採率：30％
広葉樹植栽：今後植栽予定

隠岐流域（隠岐の島町原田）

上層樹種：スギ
林齢：45年生
面積：1.30ha
不要木伐採率：30％
広葉樹植栽：ヤマザクラ等

水と緑の森づくり会議 今年の委員10名が決まりました。

委員名簿　(50音順)

部　門	氏　名	住　所
教　育	荒　金　勇　吉	奥出雲町
公　募	門　脇　　誉	松江市
地域づくり	齋　藤　道　夫	津和野町
情報広報	坂　田　千枝子	雲南市
公　募	富　田　サチ子	出雲市
商　工	鳥　谷　　雅	松江市
公　募	広　兼　敬　子	益田市
森林経営	堀　江　洋　伸	雲南市
公　募	山　田　美恵子	出雲市
ボランティア	和　田　直　美	大田市

任期：H18年４月19日～H19年３月31日

4月19日(水)に今年度第１回目の「水と緑の森づくり会議」が開催されました。

県民からの公募委員４名を含む10名の新たな委員の皆さまに県の光吉農林水産部長から委嘱状が交付され、早速、活発な意見交換が行われました。

今後、県内の現地視察などを踏まえて、２年目を迎えた「水と緑の森づくり税」を活用した事業が、より実りのあるものとなるよう議論を深めていきます。

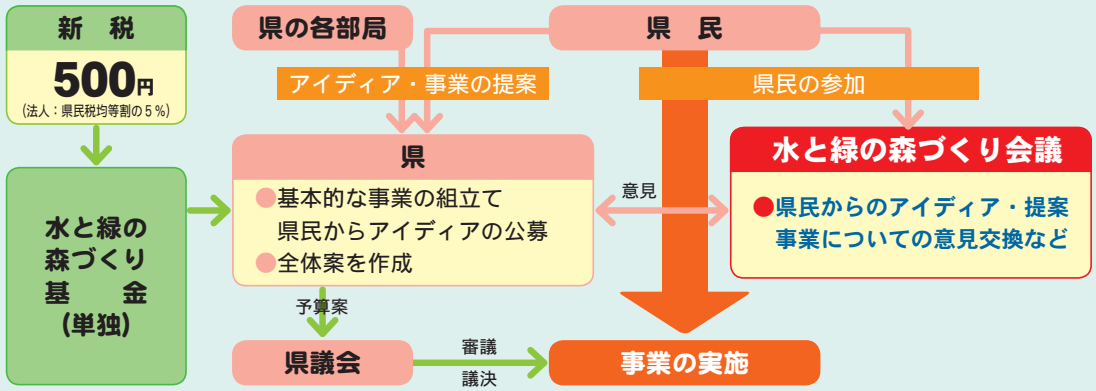
委嘱状交付式の様子

今年度の「水と緑の森づくり会議」開催予定

2006.4.1-2007.3.31

第１回	H18年４月19日
第２回	H18年７月14日
第３回	H18年９月下旬
第４回	H19年１月下旬

「水と緑の森づくり会議」の役割



もうひとつ

宍道湖中海ラムサール条約登録記念「水と緑の森づくり体験会」

６月11日(日)には、宍道湖中海がラムサール条約に登録されたことを記念して、その上流にある森林の整備を行いました。

宍道湖中海の賢明な利用を進めるうえで、そこに流れ込む水をきれいに、また、豊かな水にする必要があります。そこで、上流下流の県民の皆さんが一緒になって、奥出雲町の山林にコナラ、エノキなどの広葉樹300本を植えました。

植えた後は、周りの森林観察会が行われたほか、宍道湖で採れたしじみを使ったしじみ汁を参加者全員でいただきました。

地域の情報コーナー

出雲地域での取組み

東部農林振興センター出雲事務所から

４月22, 23日に出雲ドームで出雲市主催の「花と緑」総合フェスティバル2006が開催されました。

出雲市民の皆さんは人工芝の感触を楽しみながら、自分たちの目的とするコーナーへ行って品定めをしたり、イベントを楽しんでおられました。

なかでも人気があり常に賑わっているのは、出雲地区森林組合の木工コーナーでした。恒例となっているせいか、道具を持参して取り組んでいる親子連れもありました。

東部農林振興センター出雲事務所では、水と緑の森づくり税のコーナーを設けてＰＲ活動を行うとともにアンケートを行いました。

森づくり・資源活用実践事業 森を利用する取り組み 木の利用講座

水と緑の森づくり税を利用して、出雲科学館（曽我部國久館長）では６月３日から25日までの３週間、特別企画展「樹と木の物語」を開催されました。

この企画は、樹木が木材や商品になる流れをパネルや実物で展示紹介することで、来館者に樹木の不思議や木材の科学に関する興味・関心を喚起することを目的としたものです。

１ヶ月近い長い企画でしたが、初日には700人でスタートし、期間中には7, 000人の来館者があった人気の企画でした。

なかでも、スギ・ヒノキやコナラなどの木片を使って音の違いを体験するコーナーや、タラヨウの葉を利用した葉書が人気がありました。

森づくり・資源活用実践事業の取り組み

県民の皆さんのアイディアと参加による、森づくり・資源活用実践事業の第１次募集分の事業が決定しましたのでお知らせします。

平成18年度 第1次決定事業18件

分野	取組の名称	事業概要	実施団体
森づくりボランティア	鹿島の里山づくり交流	鹿島町では荒廃した里山の再生を図るため、平成16年度に鹿島里山クラブを７人の地域住民が結成し、里山再生に取り組んでいる。今回、森林整備ボランティアと、森林整備で発生した木竹を利用した筏下り、薪割り体験などによる県民交流を実施し、荒廃した里山森林の整備を促進する。	鹿島里山クラブ（松江市鹿島町）
森づくりボランティア	みんなの森づくり	中山間地域の自然環境の中で、都市住民が森林の共同管理者となって、地域住民とアイディアを出し合い協調して森づくりを行う。ボランティア活動（炭焼き、育林、椎茸づくり、遊歩道づくり等々）を行い、週末に過ごせる森の拠点作りを実践する。	江の川を考える会（江津市）
森づくりボランティア 木材利用	海士町千本桜構想を育む取り組み	平成15年度から４ヵ年の構想で、1,600本の桜を植栽してきており、これまでに延べ参加団体は128団体、参加人数は1,800人以上におよび、海士町千本桜構想の実現に向けて着実に成果を上げてきている。最終年度となった18年度の植樹イベントの時、この壮大な構想の趣旨及び桜配置図等を掲げた木製看板を建て、除幕式を行うと共に、島民へ広く周知する。今後は桜の保育管理（下刈り等）を継続実施していく。	海士町千本桜構想実行委員会
森づくりボランティア 木の利用講座	荒廃森林を再生する苗木づくりと鳥の巣箱づくり	古志原自然観察会では以前から広葉樹の苗木づくりを行っており、森づくり団体等に提供してきた。今回、水と緑の森づくりをきっかけに、荒廃した森林へ植栽する苗木づくりを行っていくと共に、育成してきた苗木を荒廃森林への植栽用として無償配布を行う。さらに、県民が自然や県産材に親しみ、親子の絆や世代間交流を深めることを目的に、鳥の巣箱を題材に木の利用講座を開催する。	古志原自然観察会（松江市）
森づくりボランティア 森づくり講座	どんぐりの森づくり事業	益田市内の小学生や益田圏域の地域の方々とともに、豊かな森を再生・維持するために森ー川ー海をつないだ自然体験・森づくりを含めた環境学習会を行う。また、竹ポットを活用して、小学生や地域住民の方々と一緒に育てているどんぐりの苗の植栽活動を行う。	特定非営利活動法人アンダンテ21（益田市）
森づくり講座 木の利用講座	緑よみがえる　万葉ロマン教室	日常的に身近な自然で遊び、仲間との交流を深める活動を通して、近未来、自然を活用した地域づくり・人材育成を担うリーダーの養成を目指す。また、地域の特性・施設の特性を活かして小中学校の環境教育活動の時間を支援して、子どもたちと共に森づくり活動を積極的に展開し、森の文化・木の文化の継承をボランティアとして積極的に行っていく。今回、歴史的に貴重な遺跡周辺の森林整備（間伐、下刈り、植生調査等）や炭焼き、椎茸づくりを行い、併せて、島根の木を使った、作業台づくりを実施する。	万葉公園友の会（益田市）
森づくり講座 木材利用	命を育む森づくり体験と木のぬくもりのある机・椅子導入事業	次世代を担う子どもたちに、総合学習の場において、森林は祖先が守り育ててきたこと、後世に保全することが大切であること等を、実際に森林に入って下刈り等の活動により理解させ、森林・林業に親しみを持たせる。また、学校生活においては、県産材を利用した、温かみのある机・椅子で学習してもらう。	吉賀町教育委員会
木材利用	景観型木材ガードレール付替事業	吉田町はたたら製鉄で栄えた風土をテーマに地域づくりを進めている。その中核は田部家を中心とする吉田の街並みである。これに連なる吉田公園は郷土が生んだ彫刻家内藤伸の設計で当時の田部家と村民の労力により建設された自然や地形を生かした公園である。この公園と吉田町の町並みのエリアを自然と歴史あふれる空間とし、交流を促進し地域活力を生み出す。今回吉田公園下のガードレールを景観にマッチした木製ガードレールへの布設替えを行い、吉田の街並み、吉田公園、大吉田川河口の空間の周回コースを完成させる。	吉田公園クラブ（雲南市吉田町）
木材利用	展望広場（お花見広場）整備事業	大田市志学地域をやすらぎの里として位置づける中で、上山地域には平成17年度から５年間で桜5,000本を植栽し、桜の名所として整備する。これに併せ、桜をキーワードに県産材を利用した展望広場を地域の交流の場として、また都市と農村の交流活動の拠点として、東屋、木柵、テーブル、ベンチを整備する。	上山地域「桜の里づくり」実行委員会（大田市）
木材利用	「木製ベンチでひとやすみ」のんびり空間創出事業	津和野観光協会、地域住民、関係団体等により、専門業者の指導により県産材利用の木製ベンチ製作を共同で行う。ベンチは町並み散策コース中の町内の名所、旧跡、あるいは和菓子屋や酒屋等に設置し、休憩やイベントにおいて使用していく。併せて取り組みの趣旨などのＰＲを町内外に向けて発信する。	津和野町観光協会
木材利用 木の利用講座	Myふぁれすとプロジェクト	飯南町内の子どもたち（とんばら探検隊）と保護者を中心に、一般にも参加を呼びかけ、身近にある森林から木材が得られることを学習し、森林資源の有効活用の体感や、植林・森林保全活動等を行うことにより、地域の山林に愛着を持ち、利用し、育てていくことの楽しさと必要性を伝えていく。このため、地域の森林についての学習と広葉樹の苗採取→植林→管理→伐採→製材→加工のプロセスを包括的に体験する講座を開催する。	とんばら探検隊（飯南町）
木材利用 木の利用講座	森、まち、人～川かみと川しものふれあい事業	森林は大気中のCO_2を吸収し、地球温暖化防止につながる重要な役割を果たしている。この森林を次世代に引き継ぐため、子どもから大人まで木材に親しむことのできる環境づくりをテーマとした「素舞流祭」に併せ、県産材の利用ＰＲや木工体験、セミナー、パネル展示などを実施し、県産材の利用促進とリサイクル型社会の構築に向けた啓発活動を実施する。	石州素舞流（大田市）
木材利用 木の利用講座	森林と文化財を大切にする心を育てる	県産材で長椅子を地域の子どもたちと一緒になって作成し、熟・壮・児の世代間が交流し、木のぬくもりに触れながら、昔話や言い伝え、森や林の大切さを語り合う心豊かな子育て環境を創出する。併せて国道９号線沿いに県産材を利用した文化財の案内板を設置し、市内外の見学者等との交流を通じて、文化財愛護の意識も高める。	「心に残る里づくり」推進協議会（益田市）
木の利用講座	第5回しまね木材まつり（安来会場）	木材や木材製品を手にとってもらったり、加工を体験することによって伝統技術や木のぬくもりを広く知ってもらうことを目的に、以前から実施していたしまね木材まつりの一環として、安来市の会場において、市内の幼稚園やＰＴＡを対象とした木工教室（伝統技術の組子、ベンチ作成）を開催する。完成品は各園に持ち帰ってもらい、木のぬくもりや伝統技術を体感してもらう。	しまね木材まつり安来会場実行委員会（安来市）
木の利用講座	間伐材を利用した丸棒テーブル・ベンチづくり	親子が木工を通じ、木とふれあったり、木の良さを理解したり、森づくり（間伐）の大切さなどを理解する機会を提供する。併せて多くの市民が、気軽に木と親しみ、木とふれあう場を提供する。今回は間伐材を丸棒に加工したものを材料に、テーブルやベンチ作りを行い、公共的な場所に設置する。	しまねフォレストネットワーク出雲（出雲市）
木の利用講座	特別企画展「樹と木の物語」と県産材利用促進講座の開催	多くの市民が木材の持つ良質な特性や木工の魅力を体験、体得するとともに、森林資源の重要性、山林の維持管理の大切さを学ぶことを目的に、６月には企画展を実施し、森の創作工房（木工教室）の実施に併せ、森林の保全や県産木材の活用に関心を向けてもらうため、講座導入段階でのレクチャーを実施する。	出雲科学館（出雲市）
木の利用講座	炭焼き体験	邑智地域の伝統的な産業である炭焼きを体験することによって、邑智地域の良さを知り、エネルギー問題や環境問題について考えるきっかけとすることを目的に、オリエンテーションから成果発表まで、年間を通じたきめ細かなスケジュールにより実践する。	邑智中学校（美郷町）
森林・都市交流	森の探検・森で遊ぶ・森で学ぶ	里山の巨樹に触れ、郷土の歴史を学び自然体験を豊かにする。また、教育機関との連携による小中学校の森林環境教育を推進する。さらに森林体験活動の場を整備することを目的に、交流による里山の植生調査から自然観察、さらに登山道の整備と孟宗竹の伐採などの森林体験を行う。	特定非営利活動法人風の子たき多伎町巨樹の会（出雲市多伎町）

県内の「森づくり」行事・イベント案内

8月6日(日)	「里山自然塾」第５回講座 “杉の皮で和紙づくりに挑戦”	ふるさと森林公園（松江市宍道町）	問い合わせ先：ＮＰＯ法人もりふれ倶楽部 TEL 0852-66-3586
8月27日(日)	石州素舞流祭（講演会・木工教室ほか）	大田商工会議所（大田市大田町）	問い合わせ先：大田商工会議所内 TEL 0854-82-0765
9月3日(日)	「里山自然塾」第６回講座 “間伐材丸太で動物づくり”	ふるさと森林公園（松江市宍道町）	問い合わせ先：ＮＰＯ法人もりふれ倶楽部 TEL 0852-66-3586
9月30日(土)	森林スキルアップ研修 “樹木鑑定研修”	県民の森（飯南町小田）	問い合わせ先：中山間地域研究センター県有林管理スタッフ TEL 0854-76-2302
10月1日(日)	「里山自然塾」第７回講座 “里山の秋にキノコ探し”	ふるさと森林公園（松江市宍道町）	問い合わせ先：ＮＰＯ法人もりふれ倶楽部 TEL 0852-66-3586
10月1日(日)	県民の森ふれあい講座 “間伐して丸太イスづくり”	県民の森（飯南町小田）	問い合わせ先：中山間地域研究センター県有林管理スタッフ TEL 0854-76-2302
10月21日(土) 10月22日(日)	森林スキルアップ研修 “森づくり・木づかい講座（間伐・植栽編）”	県民の森（飯南町小田）	問い合わせ先：中山間地域研究センター県有林管理スタッフ TEL 0854-76-2302

み～も通信 水と緑の森づくり情報誌 夏号 2006.7 Vol.5

発行：島根県農林水産部林業課・水と緑の森づくりスタッフ
〒690-8501 松江市殿町1番地 TEL0852-22-5170 FAX0852-22-6167
http://www.pref.shimane.jp/section/yama/mizumori/index.html

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK ※環境にやさしい大豆インキを使用しています